



現在の運営（入居）状況の報告

- 1 F : 8名（男性3名 女性5名）
※男性1名入院中
- 2 F : 9名（男性1名 女性8名）
- 計 17名（男性4名 女性13名）

7月・8月の事故報告（8月24日現在）

- 1F：7月・・・1件
- 8月・・・2件
- 2F：7月・・・1件
- 8月・・・2件
- 合計・・・・・・・・・・6件

事故の内容

- 転倒・・・・・・・・・・3件
- 皮下出血・・・・・・・・・・1件
- 内出血・・・・・・・・・・1件
- 物品破損・・・・・・・・・・1件
- 入れ歯関連・・・・・・・・・・1件

事故の対応策

- 転倒①

夜間帯、居室から出てこられる際につまずき

- 対応策

履いている靴の状態確認を徹底

事故の対応策

- 転倒②

食事時、居室椅子に座って頂いた際、左側へ
椅子から転落

- 対応策

スタッフの注意・事故予見不足

100%の安全を確保した上で次の行動へ

事故の対応策

- 皮下出血

入浴時、左手前腕部に広範囲の内出血？確認
状態的には打撲等ではなくうっ血状態に近い

- 対応策

高齢者の方には多く見られる状態

長袖などで保護という方法もあるが・・・

早期発見・報告を徹底

事故の対応策

- 内出血

左目じりに青く内出血を確認

打撲・転倒等の確認は出来ず 自宅でも・・・

- 対応策

報告の遅れ

常に状態の変化に気を配り、早期発見・報告を

事故の対応策

- 物品破損

お茶碗の破損

出来るだけ持参して頂いている

- 対応策

スタッフへ注意喚起

事故の対応策

- 入れ歯関連

下の入れ歯1本外れているのを発見

いつどこで取れたか、原因等不明

- 対応策

スタッフも把握出来ていない

気づきの視点を持って、早期発見・報告に



7月・8月の行事報告
〈七夕流しそうめん〉



7月・8月の行事報告
〈七夕流しそうめん〉



7月・8月の行事報告

<いちぶちどり保育園交流会（スイカ割り）>



<土用の丑の日>



<誕生日会（8月）>



お誕生日
おめでとう
みんなであそぼう

<いちぶちどり保育園交流会>



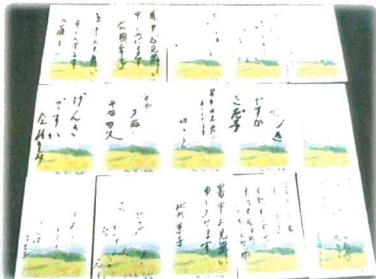
<生活作業や余暇の取り組み>



<生活作業や余暇の取り組み>



<生活作業や余暇の取り組み>



<その他事業所取り組み>

○ 第2回認知症研修会

9/25 (日) 10/20 (木)

フレンド生駒にて開催

家族様の参加も可

認知症サポーターキャラバン

厚生労働省が推進する「認知症サポーターキャラバン」は、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、支援する「認知症サポーター」を多数養成し、認知症に対しても安心して暮らせるまちを市民の手によってつくっていくことを目指しています。

病気として理解する

脳は、私たちの活動をコントロールしている司令塔です。脳がうまくはたらかないと、精神や身体の活動がスムーズにできなくなります。認知症とは、脳の細胞が死んだり、働きが悪くなったりが原因となり、生活を支えている状態にあります。認知症は、たれでもなる可能性がある病気です。

認知症の人の様になる

「認知症の人は何もわからない」は間違いです。認知症から失っていくのは本人です。誰かの人や、認知症の人を理解し、その人ができない部分を補う「杖」となれば、自分でできることも増え、自分や人に喜ばせていくことができます。得意なようなハobbiesを、多くの人でも多くの「人間性」を増やしていくことが重要です。

明日のわたしのためだから……
認知症サポーターになりませんか

認知症サポーターとは

なにや特別なことをする人ではありません。認知症についてよく理解し、留意をもち、認知症の人や家族とよく関わりあふ姿勢として、自分のできる範囲で活動します。自分自身の理解と認識し、本人や家族に安心と信頼を生むこと、認知症の人やその家族の理解を深めようとする心もサポーターの活動です。

認知症サポーターになるには

サポーター養成講座を受講した人が「認知症サポーター」となり、認知症の人を支援します(という意思を必ず自分の「サイン」が掲げられます)。

●「サポーター養成講座」は市町村が主催、もしくは在籍、在学している市民を対象に実施しています。

認知症サポーター養成講座申込書はこちら

全国キャラバン・サイト連絡協議会
 事務局 地域ケア推進センター
 〒162-0843 東京都新宿区西長町 2-7-15
 近代科学ビル4F
 TEL: 03-3266-0551 FAX: 03-3266-1670